

経営比較分析表（令和5年度決算）

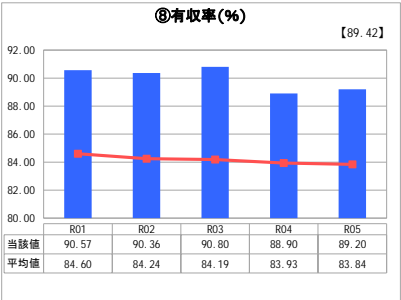
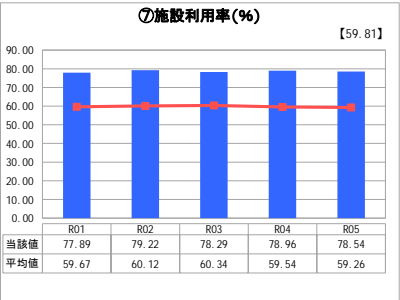
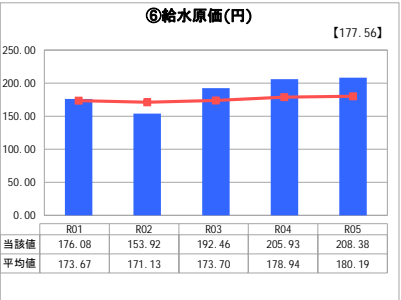
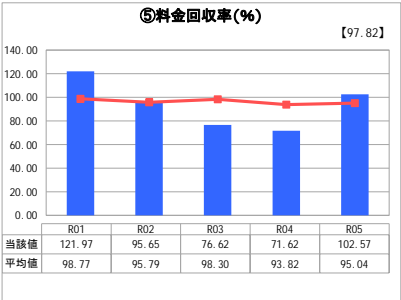
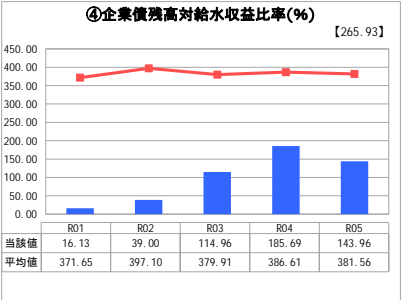
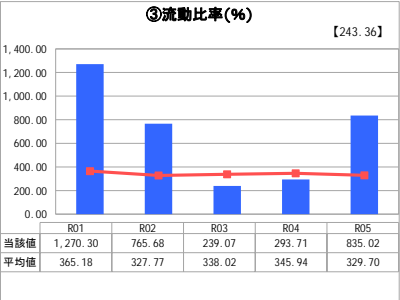
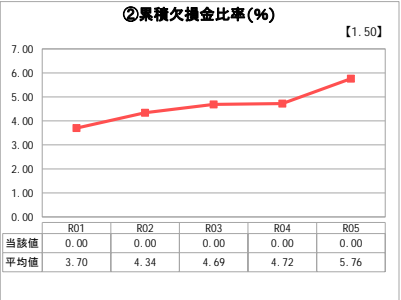
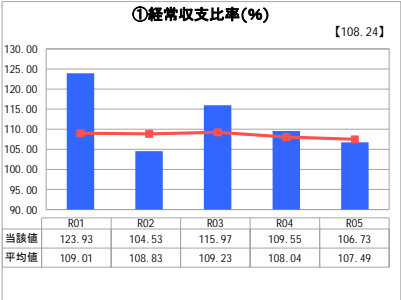
兵庫県 加東市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	88.84	99.01	3,729	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
39,681	157.55	251.86
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
39,071	97.11	402.34

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を上回っており、給水収益等で維持管理費や支払利息等の費用を賄えていることから、収支は健全な水準にある。

③流動比率は、一般的な適正比率200%以上を維持しており、現金収支における資金の安全性を保つことができる。

④企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値と比べて低いが、浄水場統合整備等のため令和2年度から増加傾向にある。今後も更新需要の増大に対応するため企業債を活用するが、投資財政計画や経営指標等を踏まえて適切な規模で借入を行う。

⑤料金回収率は、令和2年度から令和4年度までの各年度において6か月間の水道料金減免を行っていたが、令和5年度は通常の料金徴収を行ったため、100%を上回った。

⑥給水原価は、浄水場統合整備などの建設改良事業の進捗に伴う固定資産減耗費の増加により、令和3年度以降、類似団体平均値より高くなっている。

⑦施設利用率は、類似団体平均値と比較して高い値であり、一定の余裕を残して安定した推移となっている。

⑧有収率は、類似団体平均値と比較して高い値となっていることから、施設の稼働に見合う収益が得られており、効率よく安定した給水ができている。

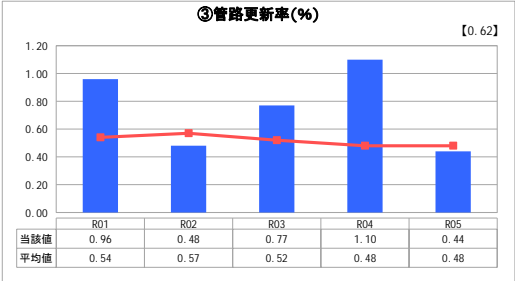
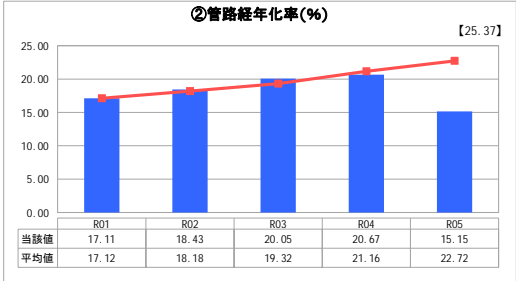
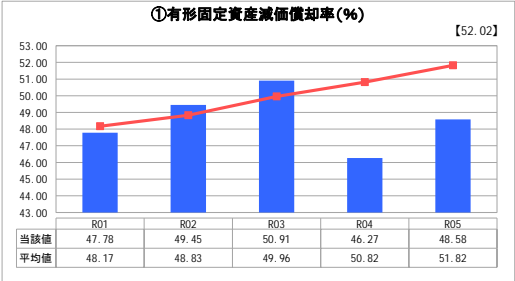
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、前年度比2.31ポイント上昇したものの、令和4年度に浄水場統合整備によって低下していたため、類似団体平均値に比べて低くなっている。

②管路経年化率は、アセットマネジメント計画において資産整理を行い、管路延長等を見直した結果、前年度比5.52ポイント低下した。

③管路更新率は、工程により更新延長に波があるが、5年平均では0.75%であり、類似団体平均値の5年平均0.52%を上回っている。管路の更新は、大口径の基幹管路を優先し、重要度を判断しながら計画的に更新を進めている。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の老朽化に伴う更新需要の増大や将来の人口減少予測による料金収入の減少が見込まれるため、定期的に適切な料金体系を検討し、収益確保の方策を立てるとともに、アセットマネジメントに基づき投資費用を平準化することにより、安定した経営を維持する。

引き続き当市水道ビジョン及び経営戦略に掲げた施策目標である「安全」「強靱」「持続」の達成に向けて、中長期的な視線に立ち、効率的かつ効果的に事業を管理運営する。